



宇部市環境教育・学習ビジョン(概要版)

平成28年8月

宇部市

1. 計画策定の背景と目的

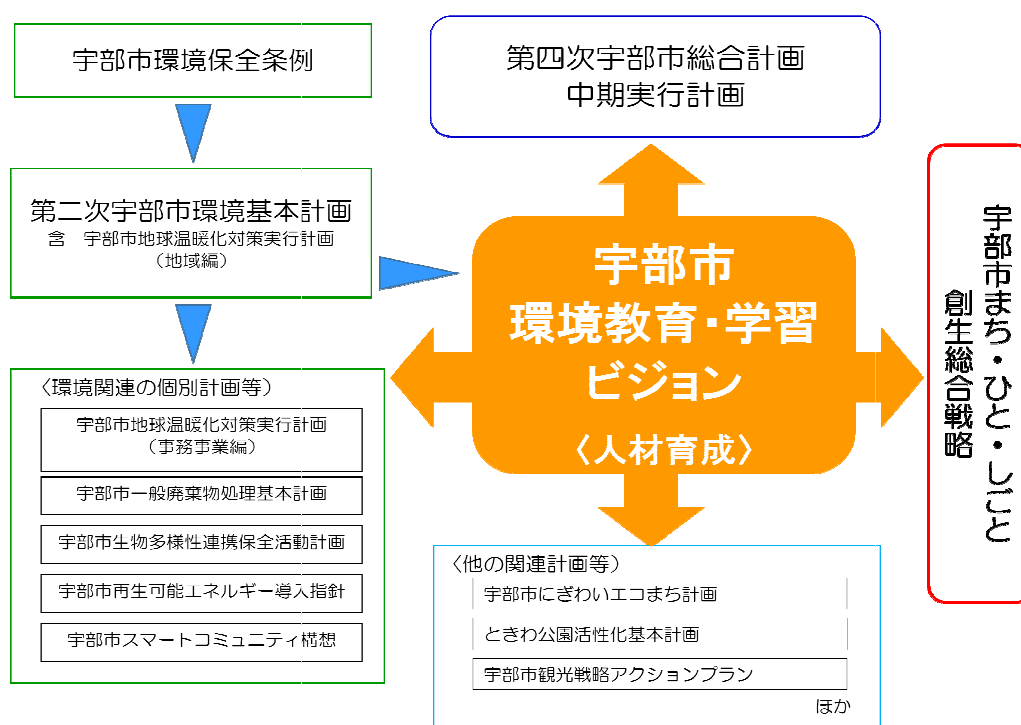
地球温暖化をはじめ、廃棄物の増加、エネルギー問題、生物多様性の損失など、環境問題はますます複雑化してきています。こうした問題に効果的に対処し、将来にわたって持続可能な社会を築いていくためには、一人ひとりが持続可能な社会の担い手として主体的な役割を果たすことが重要であり、家庭、職場、地域、学校等の様々な場において、環境教育・学習を通じた環境保全活動の実践とその広がりが求められています。

さらに、環境教育・学習を担う人材の育成のみならず、それらが活用される機会を創ることも求められています。

こうした状況を踏まえ、「第二次宇部市環境基本計画」の基本目標の一つである「市民、事業者との協働により地域環境力を高め、宇部方式で環境を創るまち」の実現に向けて、環境教育を推進するための具体的な施策を体系的に取りまとめ、環境教育・学習を効果的に推進していくためのガイドラインとして本ビジョンを策定しました。

2. ビジョンの役割と位置づけ

本ビジョンは、「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」及び同法律に基づく「環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組の推進に関する基本的な方針」、並びに「宇部市環境保全条例」第15条を根拠とし、本条例第8条に基づき策定した「第二次宇部市環境基本計画」(平成22年3月策定)を上位計画と位置付け、環境教育・学習を効果的に推進していくためのガイドラインとします。



3. 基本的な考え方

これまでの本市の環境教育・学習の取組を踏まえ、本市では以下の基本的な考え方に沿って環境教育・学習を推進します。

基本理念

誰もが学べる環境づくり

育てよう “人ちから” “つながる力”

基本目標

●環境教育・学習の機会と場を拡充します

ESD*の理念をもって、市民一人ひとりが自らの問題として環境問題に関心を持ち、具体的に行動することができるよう、乳幼児期からシニア世代まで、自分の身近な環境から持続可能な社会づくりについて学び、体験する環境の整備を図ります。

●協働の推進体制を構築します

様々な主体による取組を一過性に終わらせないために、市民や事業者等の意識をさらに高め、それぞれが環境教育・学習に取り組みやすくする仕組みづくりを進め、様々な主体との協働・連携により持続可能な社会づくりを進めていきます。

●環境先進都市うべを担う人材を育成します

環境まちづくりサポーター等の育成を進め、地域で活動している様々な主体とのネットワークを形成するとともに、各主体間をつなげていくコーディネーターの育成や得た知識や経験を活かす環境教育の場の充実など、育成した人材を活かす取組を一層推進していきます。

●宇部方式：新たなステージへ

ESDの理念は、「保全すること・発展することの両立」で、宇部方式の精神と通じています。行政・学校・市民団体・企業・地域等のつながりをさらに深め、宇部方式の新たなステージへと進みます。

※ESD Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。一人一人が自然環境や資源の有限性、地域の将来性など、様々な分野とのつながりを認識し、持続可能な社会の実現に向けて行動する人材を育成する教育のことです。

4. 施策の体系

基本目標	施策の展開	取り組み
環境教育の機会と場を拡充します	学校における環境教育の推進	教職員の環境教育研修の実施
		環境への関心の発掘
		各教科と結びついたプログラム・教材の提供
		社会見学、自然体験型学習の実施
		学校施設を利用した環境教育
		幼稚園・保育園・小中学校の連携推進
	地域における環境教育の推進	啓発イベントの開催
		行政による出前講座
	環境学習拠点の充実	ときわ公園全体での環境学習プログラムの提供
		貴重な自主学習スペースを有効活用～まちなか環境学習館
自然体験学習プログラムの充実～アクトビレッジおの		
協働の推進体制を構築します	環境情報の共有	環境フォーラム等のイベントによる環境情報の周知
		環境教育事業実施計画表の作成・公開
		環境保全団体の活動情報の集約・公開
	協働体制の整備	地域意見交換会の開催
		相談体制の整備
		コミュニティ・スクールの活用
環境先進都市うべを担う人材を育成します	環境リーダーの育成	市民大学環境学部、大学院環境学コース
		人材バンクとスキルアップ制度の整備
		環境リーダー活用システムの整備
		次世代の育成

5. 重点プロジェクト

重点プロジェクトは、本ビジョンの基本理念「誰もが学べる環境づくり 育てよう “人ちから” “つながる力”」に基づき、3つの基本目標を横断的に実現できる次のような取組を「重点プロジェクト」として設定し、取り組んでいきます。これらの取組は、個別に取り組むことも可能ですが、それぞれ関連しており、一体として取り組むことにより、より効果を上げることができます。

重点プロジェクト

- 環境教育応援プロジェクト
- みんなエコハになろうプロジェクト
- 環境リーダー活躍プロジェクト

プロジェクト 1

環境教育応援プロジェクト

位置づけ

基本目標：環境教育の機会と場を拡充します

施策の展開：学校における環境教育の推進

内容

- 学校は環境教育の重要なステージです。しかし、学校の教育現場では、環境に関する知識や教材も少なく、何を、どのようにして教えていけばよいかわからないという課題を抱えています。
- このプロジェクトは、環境教育に取り組む意欲のある学校の先生を対象に、教育現場で活用できるような環境の知識の習得を目的として、環境に関する様々な情報提供や体験活動を行う研修会を開催するものです。

行動計画

- 環境教育に取り組む意欲のある先生を対象に、外部講師を招いてワークショップ形式で研修会を実施します。

プロジェクト 2

みんなエコハになろうプロジェクト

位置づけ

基本目標：環境教育の機会と場を拡充します
協働の推進体制を構築します

施策の展開：学校における環境教育の推進
環境情報の共有

内容

- 子どもの頃から環境に対する姿勢と考え方を持つことは、非常に重要です。宇部市の未来を担う子どもたちが、みんなエコハちゃんになることを願って実践するプロジェクトです。
- 市内の小学校からモデル校を指定し、数回にわたって環境学習の授業を行います。複数回授業を行うことで、テーマを掘り下げ、深く学べるようにします。
- 宇部市の環境の課題である「ごみ」および「エネルギー」にテーマを絞り、市のもつ課題の解決につながる取組みとします。
- 授業は外部講師のほか、「環境教育応援プロジェクト」の研修を受けた教職員による研修内容の実践・活用の場とします。

行動計画

- 学校での授業のほか、市の施設や市内事業者の施設の見学も行って実物を体験することにより、理解を深めます。
- 授業で学んだ成果をとりまとめ、環境フォーラムやごきげん未来フェスタ等のイベントで子どもたちがステージ発表し、市民に訴えます。このことにより、あわせて本ビジョンの意義を市民にアピールします。

プロジェクト 3

環境リーダー活躍プロジェクト

位置づけ

基本目標：環境教育の機会と場を拡充します
環境先進都市うべを担う人材を育成します

施策の展開：学校における環境教育の推進
環境リーダーの育成
(仮称)ジュニアエコリーダーの育成

内容

- まちづくりサポーターや環境リーダーの希望者に「みんなエコハになろうプロジェクト」の授業を最初は傍聴し、次は外部講師のサポートのもとで、実際に授業を行ってもらいます。
- 経験を積んだまちづくりサポーターや環境リーダーには、地域や学校への講師派遣事業、行政のイベントの企画や運営などの活躍の場を市が積極的に提供します。
- 環境問題について学んだ子どもたちが、様々な環境活動に取り組むことで、地域貢献の促進につながるような仕組みを作ります。

行動計画

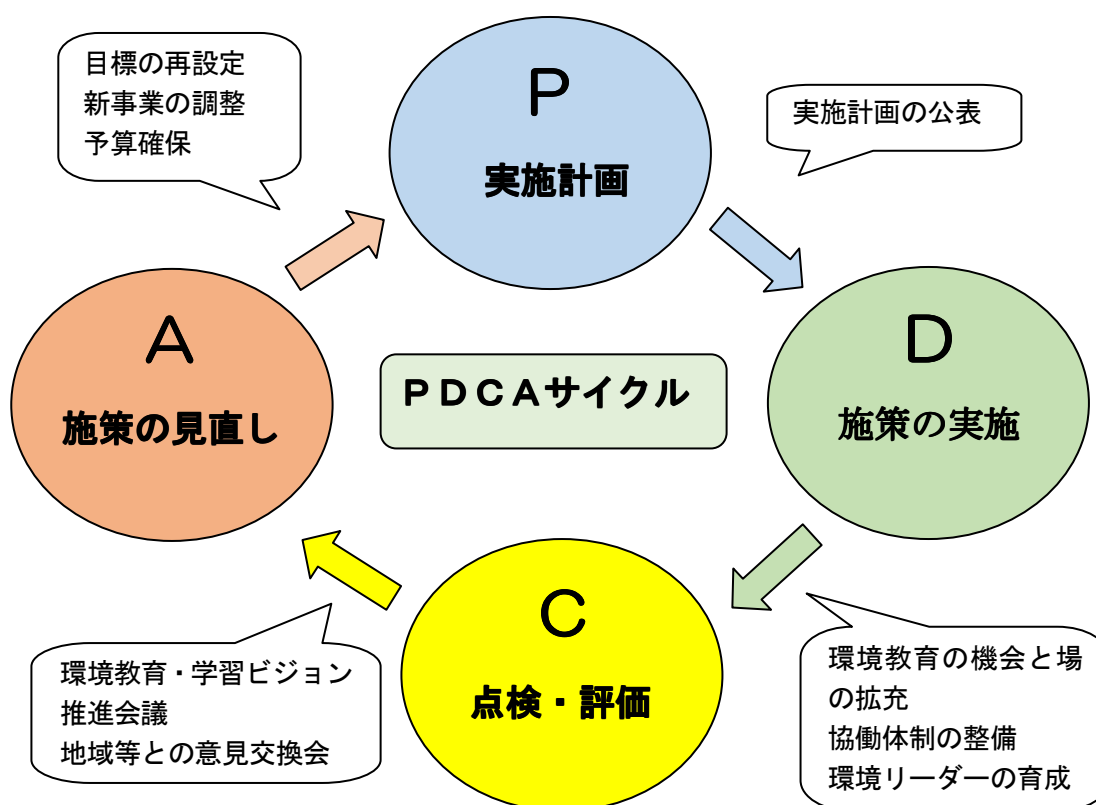
- 次年度以降、まちづくりサポーターや環境リーダーが担う部分を広げていき、その育成を推進します。
- 環境学習やその他の環境に関する取組に参加・体験した小・中学生等を（仮称）ジュニアエコリーダーとして認定する制度を創設します。

6. 環境教育・学習の推進と進捗管理

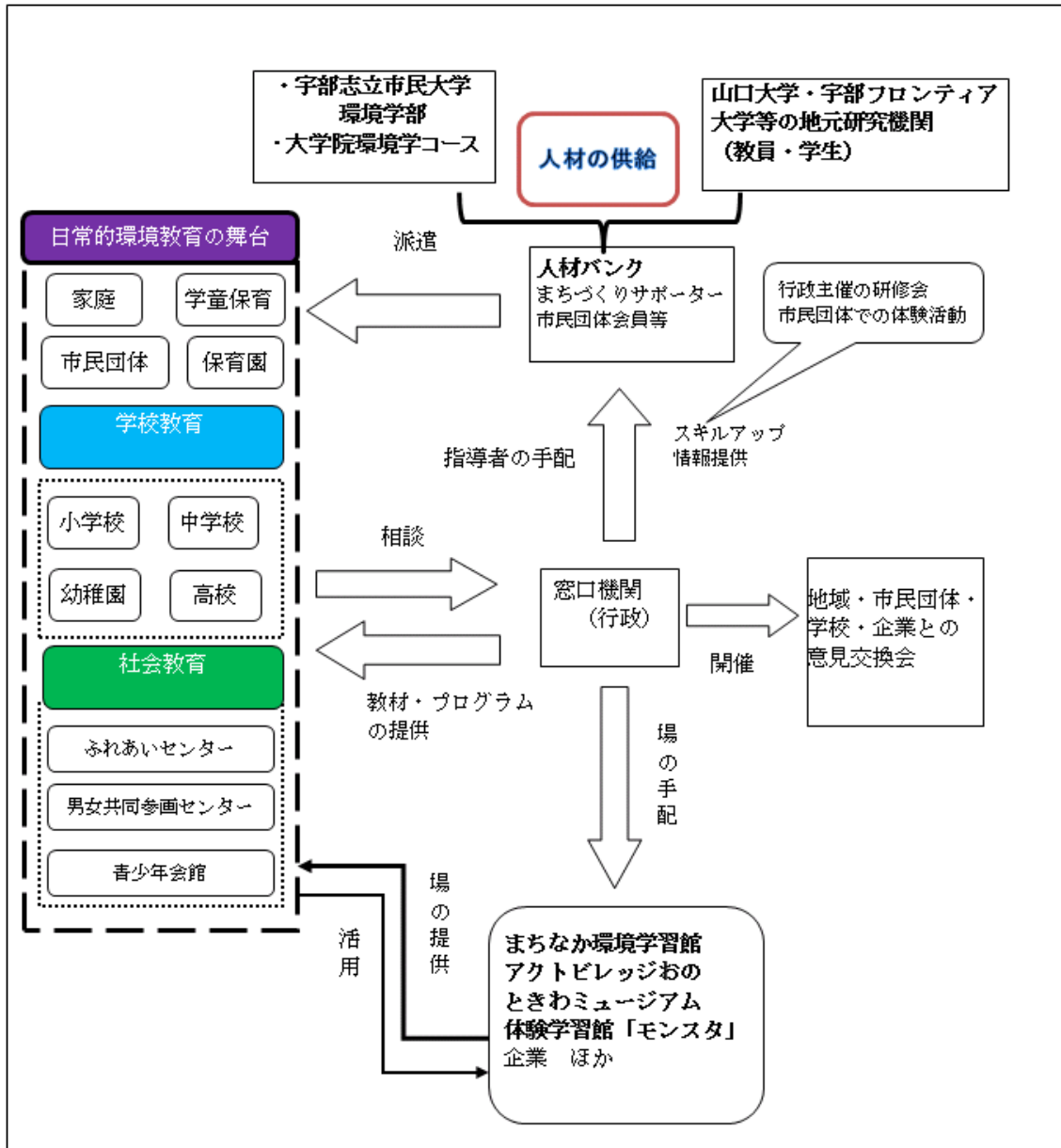
環境教育・学習事業を実施するにあたり、行政内部の調整を図りながら、各部署で行われている環境教育・学習に関連すると考えられる事業を分類ごとにまとめた実施計画を作成して、これを推進していくこととします。

本市における環境教育・学習事業の計画的、効果的な実施を図るため、PDCA サイクルによる進行管理を行うとともに、実施計画は原則として毎年見直すこととします。

毎年策定する実施計画は、ホームページにおいて公表すると同時に、図書館、ふれあいセンターなどで閲覧できるようにし、市が行う環境教育・学習事業の情報を得られるようにします。



7. 環境教育協働推進体制のイメージ



宇部市環境教育・学習ビジョン 概要版

宇部市 市民環境部 環境政策課

〒755-8601 山口県宇部市常盤町一丁目7番1号

TEL.0836-34-8245 FAX.0836-22-6016

E-mail: info-envi@city.ube.yamaguchi.jp